

大学院生シンポジウムGS-1

創薬研究の新たな展開～新たな分子標的か、新たな戦略か～

New Development of Drug Discovery Research —Novel Molecular Target and Novel Strategy—

河原 遼¹, 比留間 航²

¹熊本大院環境分子保健学, ²福岡大院薬

現在、創薬は、薬学のみならず、医学、農学、工学など様々な分野で注目され、多くの研究者が新薬開発を目標に研究を進めている。しかし、我が国の医薬品市場が成熟していることもあり、医薬品の開発は難航し、1995年以降、我が国における新薬承認数は大幅に減少している。この現状を打開するためには、新しい治療標的や、これまでにない独創的な戦略に基づいた創薬研究が必要であると思われる。本シンポジウムでは、これまで薬物治療の標的とされていなかった分子や受容体、トランスポーター、イオンチャネルを標的とした研究や、これまで注目されていなかった経路に着目した、新たな戦略に基づいて創薬研究を行っている5名の大学院生に講演していただく。発表者と聴衆が積極的に討論を行い、若手研究者らしい、活発なシンポジウムにしたいと考えている。また、癌、疼痛、循環器疾患、脳疾患といった異なる領域を専門とする研究者が交流を深めることで、本シンポジウムが、難航する医薬品開発のブレイクスルーとなるような新たな展開を見出すきっかけとなることを期待する。